

2016年6月

白山市学童野球連盟審判部 申し合わせ事項

審判部長 西 正康

去る6/4 審判部懇親会の席において参加審判員にお伝えした内容を紹介します。
参加できなかった方は下記内容を確認いただくと共に、今後の審判活動で実践してください。

大会準決勝の球審について

今年度よりチーム審判員を廃止し、連盟審判員として公式戦の審判員を勤めていただくことになりました。これにより春季大会では準決勝進出4チーム所属の連盟審判員で球審も含め全審判員をしていただきました。

大会終了後、

- ① 登録チーム全てに県野球協会の講習を受けた経験豊富な審判員がいるとは限らず、組合せによっては今年新たに登録した人たちだけで審判団を構成する場合があります。準決勝の勝敗が上位大会進出を決するケースが多く、それだけ責任も重いためせめて球審は対戦チームにこだわらず経験豊富な方を任命して欲しいとの要望があった(春季大会ではベスト4全て加賀中大会に進出できた)。
- ② しかも長年審判員を勤めていただいている経験豊富な方からは、緊張感を伴った試合経験を積む場がもっと欲しいとの希望も寄せられている。

①・②を考慮し、

公式大会の準決勝以上、特に上位大会につながる 春季・夏季・秋季・新人及び手取川フレッシュジュニア の5大会については球審は進出チームにこだわらずに経験豊富な方も任命の対象として参加・不参加を確認の上、経験値も考慮して審判割りを作ります。

※経験者＝大久保(蕪城)、川上(若体SS)、北村(松BW)、谷(美川)、中村(明光)、畑中(千代野)、浜浦(朝日)、以上の7氏プラス西 の計8名。

※上記8名以外の方で『我こそは』と思わん方の立候補はもちろん大歓迎です。

ニシまでご連絡ください。

試合中における球審の 大会本部への指示事項

① 守備及び攻撃のタイム取得回数について：

タイム取得の申し出があった場合、球審は本部席に向かってその取得回数を明示する

※タイム＝守備のタイム・攻撃のタイムともに1試合につき各3回取得可能。

監督がベンチから出てきた場合、

または内野手がマウンドに集った場合(監督が出なくても)

例：『○○チーム、守備のタイム1回』と取得回数を指で示しながら本部へ口頭で伝える。

選手が解散 または監督がベンチへ戻る際、取得回数をチームへ知らせる。

② 得点の明示：

タイムプレー(注)発生時、得点の有無を本部に向かって明示する。

例：3アウト前の本塁触塁により得点を認めた場合＝

ホームベース前(インフィールド側)に本部に向かって立ち、得点を指で示しながら1点なら『スコア1』、2点ならば『スコア2』などとコールする。

得点を認めない場合＝

ホームベース前(インフィールド側)に本部に向かって立ち、両手で大きく×印を作りながら『ノースコア』とコール。

(注)タイムプレー

2死で塁上に走者がいる場合、3アウトめがフォースアウト以外の時アウトが早いのか、走者の得点
が早いのかを判定しなければいけないプレー。

その他

① インフィールドフライのケースにおいて審判員同士での事前サインの交換

② 『タイム』、『ボーク』の時は審判員全員が同調してコール

(ファールボール時、走者がいる塁の審判は走者または打者走者に向かって『戻れ』を指示するためにジェスチャーと共に『ファール』をコールする)

③ 『隠し球』防止の目的で、外野への安打及び長打の後走者のいる塁の担当審判は『タイム』を宣告し、ボールを持った野手に対し速やかに投手に返球するよう促す。